



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 理史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長企画管理部長 (氏名) 渡邊 繁樹

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,347	37.2	828	115.0	818	143.6	585	152.3
29年3月期第2四半期	5,357	17.2	385	14.0	335	23.0	232	17.9

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 630百万円 (189.6%) 29年3月期第2四半期 217百万円 (22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	239.89	
29年3月期第2四半期	95.04	

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,435	6,322	55.3
29年3月期	10,716	5,754	53.7

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 6,322百万円 29年3月期 5,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		5.00	10.00
30年3月期		7.50			
30年3月期(予想)				37.50	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金は「-」として記載しております。

株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の1株当たりの期末配当金は7.50円となり、1株当たり年間配当金は15.00円となります。

配当予想の修正については、本日(平成29年11月1日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	21.6	1,330	37.6	1,310	37.1	920	42.6	376.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	2,605,900 株	29年3月期	2,605,900 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	164,407 株	29年3月期	163,695 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	2,441,849 株	29年3月期2Q	2,442,519 株

(注)平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、雇用・所得環境、企業業績などの改善により、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においても、景気は緩やかに回復しておりますが、景気の先行きについては、中国を始めアジア新興国等経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響などにより、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期の売上高は前年同期比1,990百万円増収（37.2%増収）の7,347百万円、営業利益は同385百万円増益（115.0%増益）の828百万円、経常利益は同482百万円増益（143.6%増益）の818百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同232百万円増益（152.3%増益）の585百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場（ドル建て）は、主産地である中国において、環境規制による操業停止などで需給逼迫懸念から、第1四半期は緩やかな上昇で始まり、5月初旬に9,000ドル台の高値をつけた後、4月から5月末にかけて実施された中国政府による環境監査の終了に伴い、供給不足の懸念が急速に解消し、7月中旬には7,900ドル台まで下落しました。その後、余剰在庫の減少により上昇に転じ、8月下旬から8,500ドル台で推移しましたが、9月末時点では8,300ドル台となっております。

当第2四半期の相場は前年同期との比較で、ドル建てでは26.9%、円建てでは33.8%とそれぞれ上昇しました。

同事業の販売状況につきましては、自動車部品向けや、中国販売子会社での販売増により、販売数量は前年同期比368トン増加（10.6%増加）の3,850トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の増加と原料価格上昇に伴う販売価格の上昇により、前年同期比1,258百万円増収（47.7%増収）の3,895百万円となりました。セグメント利益は、販売数量の増加により、同271百万円増益（16.2倍）の289百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第2四半期平均でトン当たり708,700円となり、前年同期比30.2%の上昇となりました。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、スマートフォン関連需要に加え、軟磁性材向けの販売も堅調に推移しましたので、販売数量は前年同期比115トン増加（20.1%増加）の689トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉の販売状況につきましては、自動車部品向けが好調に推移しましたので、販売数量は前年同期比142トン増加（17.4%増加）の958トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比257トン増加（18.5%増加）の1,647トンとなりました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の増加と主原料である銅の国内建値の上昇に伴う販売価格の上昇により、前年同期比732百万円増収（27.0%増収）の3,441百万円となりました。セグメント利益は、電子部品向け金属粉の販売好調により、同172百万円増益（49.0%増益）の525百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業の当第2四半期の売上高は11百万円（前年同期比0.3%減益）、セグメント利益は11百万円（前年同期比0.5%減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,228百万円となり、前連結会計年度末と比べ813百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が184百万円及び受取手形及び売掛金が590百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,207百万円となり前連結会計年度末に比べ95百万円の減少となりました。

この結果、総資産は、11,435百万円となり、前連結会計年度末と比べ718百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,817百万円となり、前連結会計年度末と比べ235百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が70百万円、未払法人税等が47百万円及びその他が109百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,296百万円となり前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が81百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,113百万円となり、前連結会計年度末と比べ151百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,322百万円となり、前連結会計年度末と比べ567百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により585百万円増加したこと及び配当により61百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.3% (前連結会計年度末は53.7%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年10月25日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。なお、業績予想の修正が必要と判明した時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,393,613	2,578,264
受取手形及び売掛金	1,836,923	2,427,604
商品及び製品	1,027,819	1,187,000
仕掛品	227,470	214,285
原材料及び貯蔵品	790,838	710,689
その他	143,313	117,911
貸倒引当金	△5,645	△7,617
流動資産合計	6,414,333	7,228,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,448,823	1,418,930
機械装置及び運搬具(純額)	697,429	680,519
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	203,351	213,947
有形固定資産合計	3,828,194	3,791,988
無形固定資産	45,673	44,443
投資その他の資産	428,735	370,929
固定資産合計	4,302,604	4,207,361
資産合計	10,716,938	11,435,499

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	924,271	994,624
電子記録債務	335,338	313,210
短期借入金	1,632,000	1,662,000
未払法人税等	218,346	265,896
賞与引当金	134,141	134,422
その他	337,801	447,259
流動負債合計	3,581,899	3,817,413
固定負債		
長期借入金	938,000	857,000
退職給付に係る負債	328,931	328,144
資産除去債務	35,680	35,915
その他	77,897	75,009
固定負債合計	1,380,509	1,296,068
負債合計	4,962,408	5,113,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	4,295,556	4,820,265
自己株式	△149,135	△150,794
株主資本合計	5,729,272	6,252,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,217	65,617
為替換算調整勘定	5,038	4,076
その他の包括利益累計額合計	25,256	69,693
純資産合計	5,754,529	6,322,016
負債純資産合計	10,716,938	11,435,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,357,277	7,347,797
売上原価	4,496,833	6,037,162
売上総利益	860,443	1,310,635
販売費及び一般管理費	475,132	482,145
営業利益	385,311	828,489
営業外収益		
受取配当金	1,654	2,201
助成金収入	60	2,760
その他	3,244	6,687
営業外収益合計	4,958	11,648
営業外費用		
支払利息	11,654	11,827
為替差損	32,518	—
休止鉱山費用	6,271	7,285
その他	3,993	2,857
営業外費用合計	54,438	21,970
経常利益	335,831	818,168
特別利益		
固定資産売却益	2,999	—
投資有価証券売却益	—	29,100
特別利益合計	2,999	29,100
特別損失		
固定資産除却損	545	1,110
特別損失合計	545	1,110
税金等調整前四半期純利益	338,285	846,158
法人税、住民税及び事業税	108,096	262,265
法人税等調整額	△1,951	△1,871
法人税等合計	106,145	260,394
四半期純利益	232,139	585,764
親会社株主に帰属する四半期純利益	232,139	585,764

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	232,139	585,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,914	45,399
為替換算調整勘定	△10,637	△962
その他の包括利益合計	△14,552	44,437
四半期包括利益	217,587	630,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,587	630,201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,637,069	2,708,634	5,345,704	11,572	5,357,277	—	5,357,277
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	99	24,443	24,543	—	24,543	△24,543	—
計	2,637,169	2,733,078	5,370,247	11,572	5,381,820	△24,543	5,357,277
セグメント利益	17,929	352,471	370,400	11,389	381,790	3,520	385,311

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額3,520千円はセグメント間取引の消去3,520千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,895,208	3,441,050	7,336,259	11,537	7,347,797	—	7,347,797
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	31,460	31,460	—	31,460	△31,460	—
計	3,895,208	3,472,511	7,367,720	11,537	7,379,257	△31,460	7,347,797
セグメント利益	289,693	525,085	814,778	11,331	826,110	2,379	828,489

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額2,379千円はセグメント間取引の消去2,379千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。